

JFMA FORUM 2014

ナレッジ・コモンズ：2025
グローバル人材を育む空間環境

株式会社 岡村製作所
オフィス研究所 パブリック研究室

前田 明洋

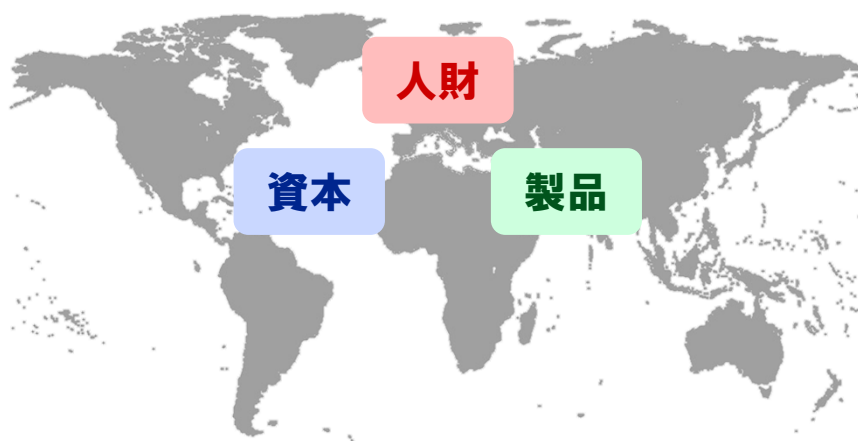
2014.02.13

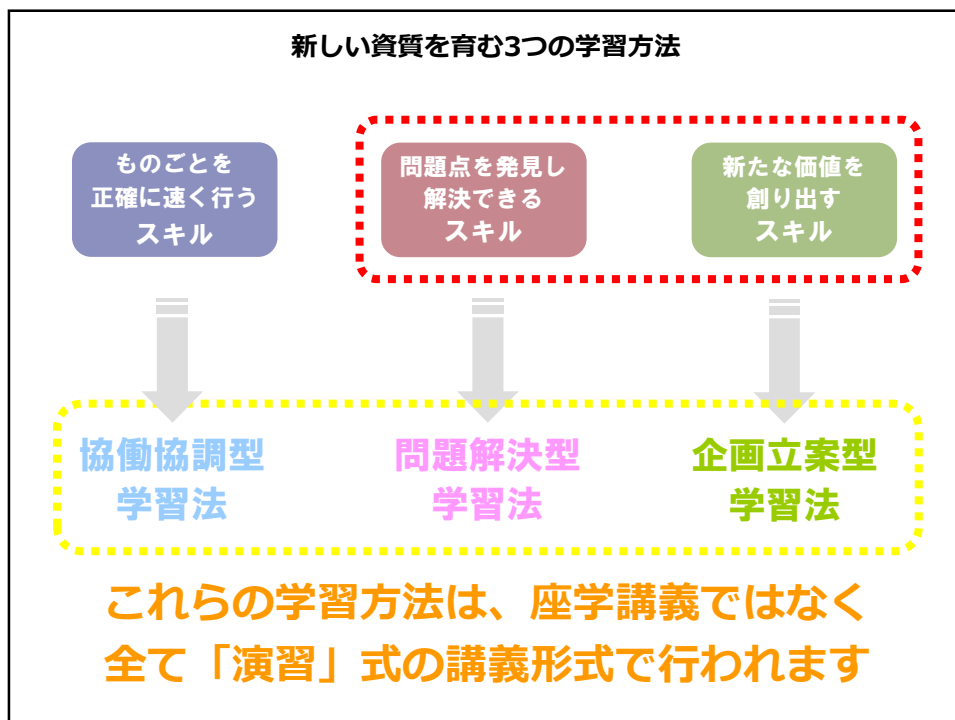
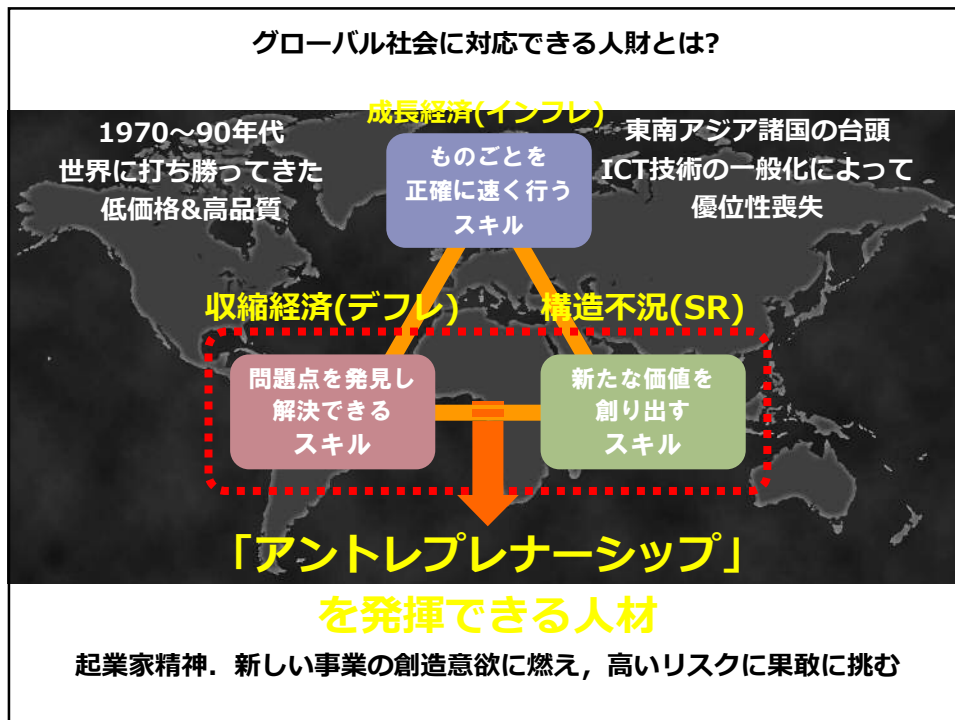
このセミナーでお話すること

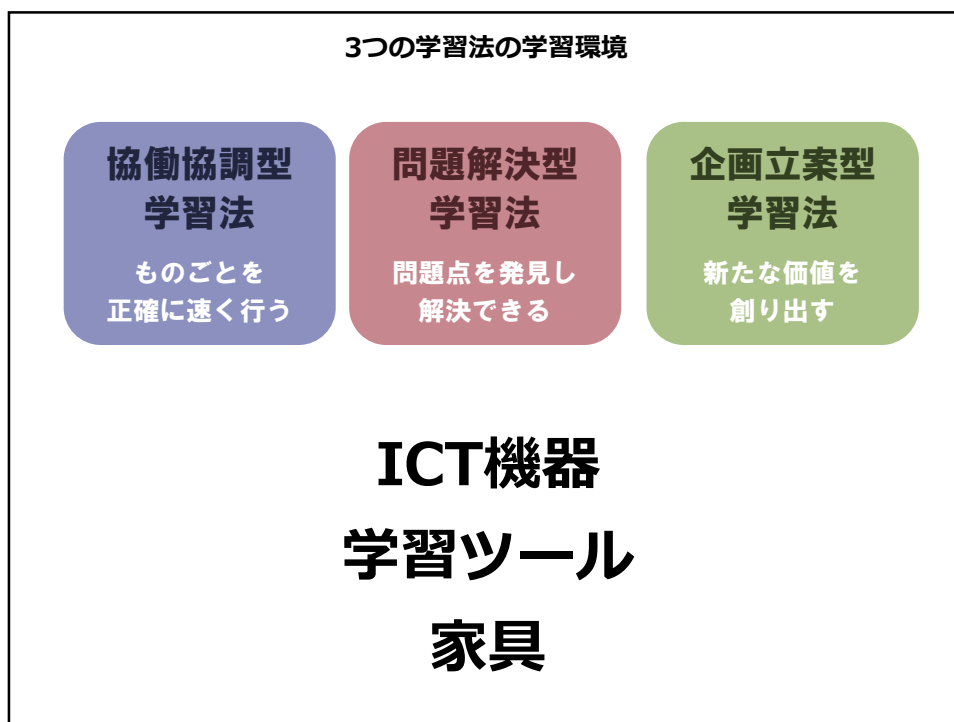
- **グローバル化社会で
必要とされるスキルとは**
- **欧米の人材開発戦略**
- **ナレッジ・コモンズとは何か
：2025年に向けて**

グローバル化社会で 必要とされるスキルとは

グローバル社会とは何か？

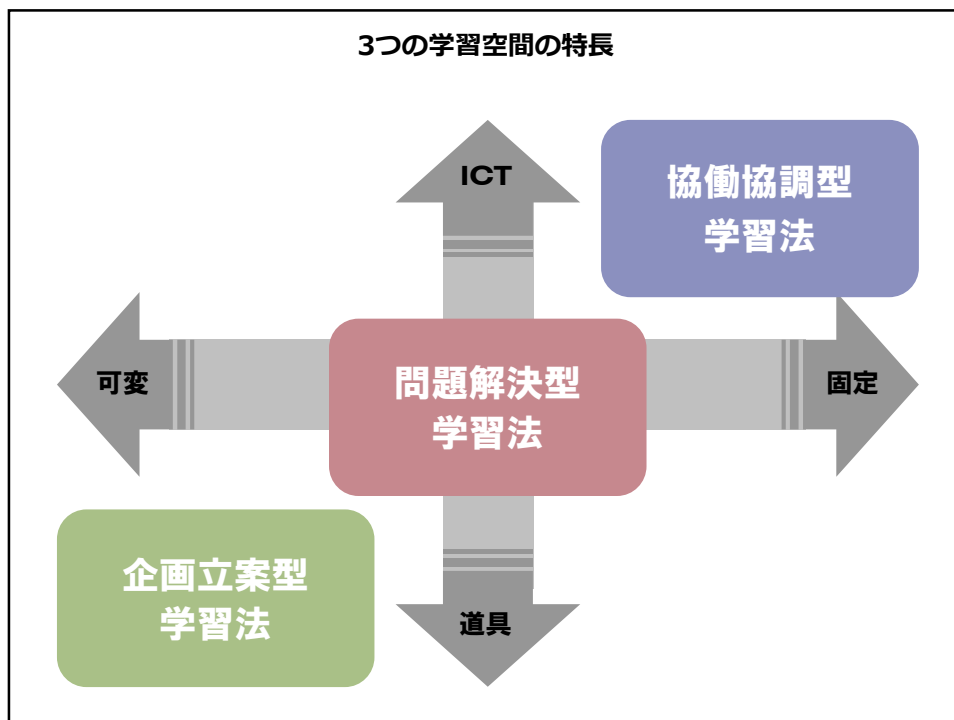






3つの学習法の学習環境

分 類	協働協調型	問題解決型	企画立案型
目 的	専門知識の習得	課題解決能力育成	新しい価値の創造
教室のサイズ	中（～100名）	小（20～40名）	小（20～40名）
家具の配置	固定配置	可動配置	可動配置
家具の運用	固定的に使用	学習課題 によって変化	学習プロセス によって変化
学習ツールの 特徴	ICT中心 （効率化）	ICT ステーションナリ	ステーションナリ
I C T環境	限定的な固定機器	マルチ利用環境	選択的に使用



ここまでのまとめ

グローバル人材を育むためには・・・

- ・ 重要な「3つのスキル」
- ・ 専門的な教育手法
- ・ ICT機器、学習ツール、家具

ナレッジ・コモンズ とは何か

日本の人財に必要な要素

日本の大学について考えてみると

日本の大学生の3つの課題

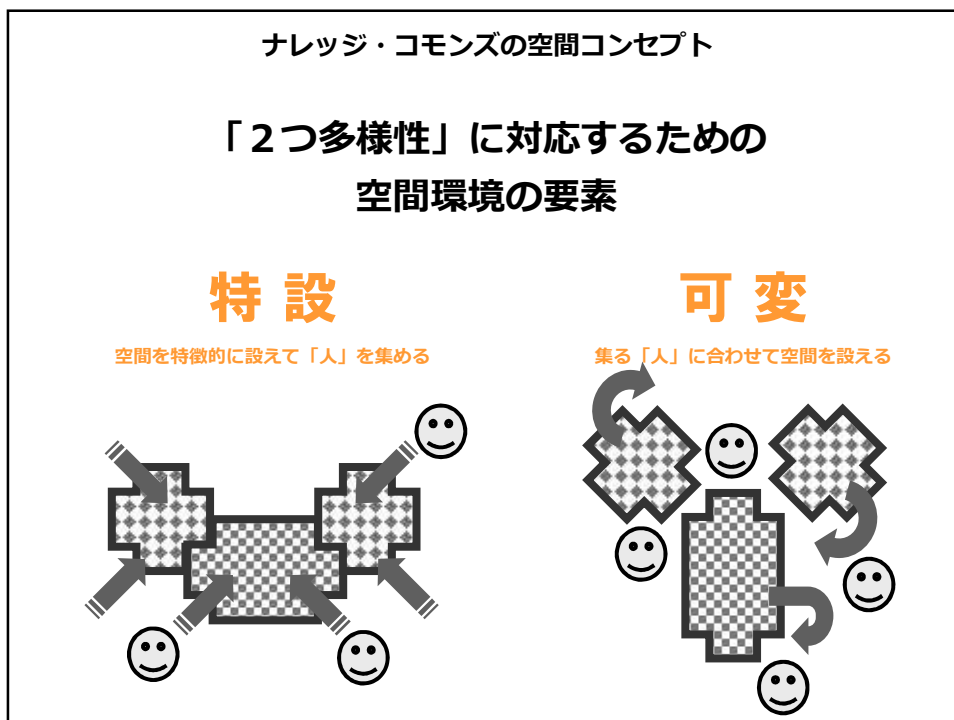
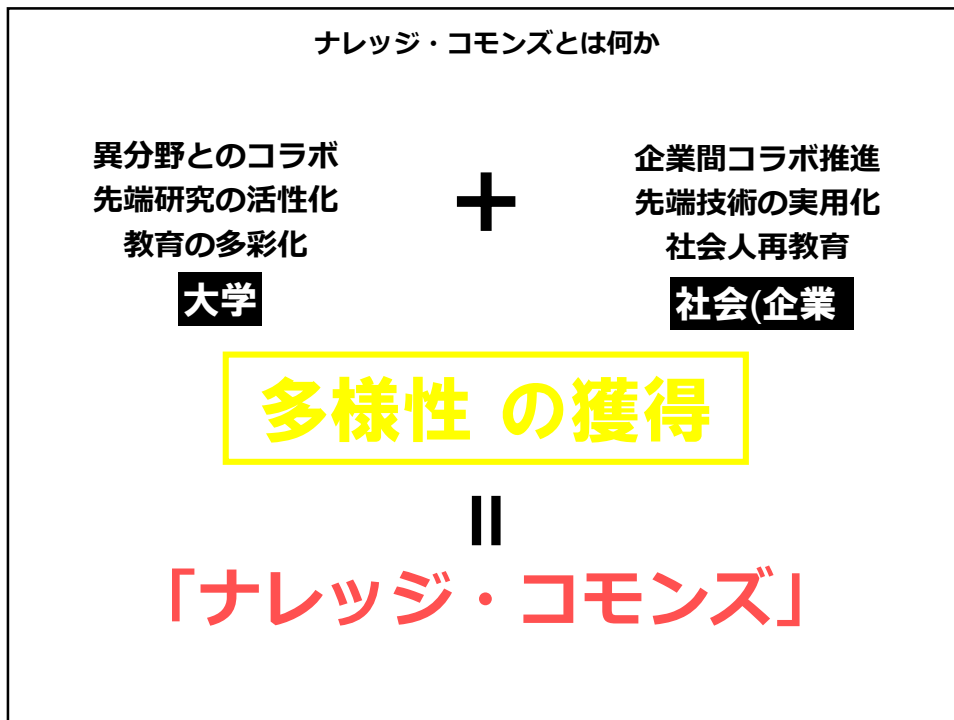
◎ 国際的なコミュニケーション能力

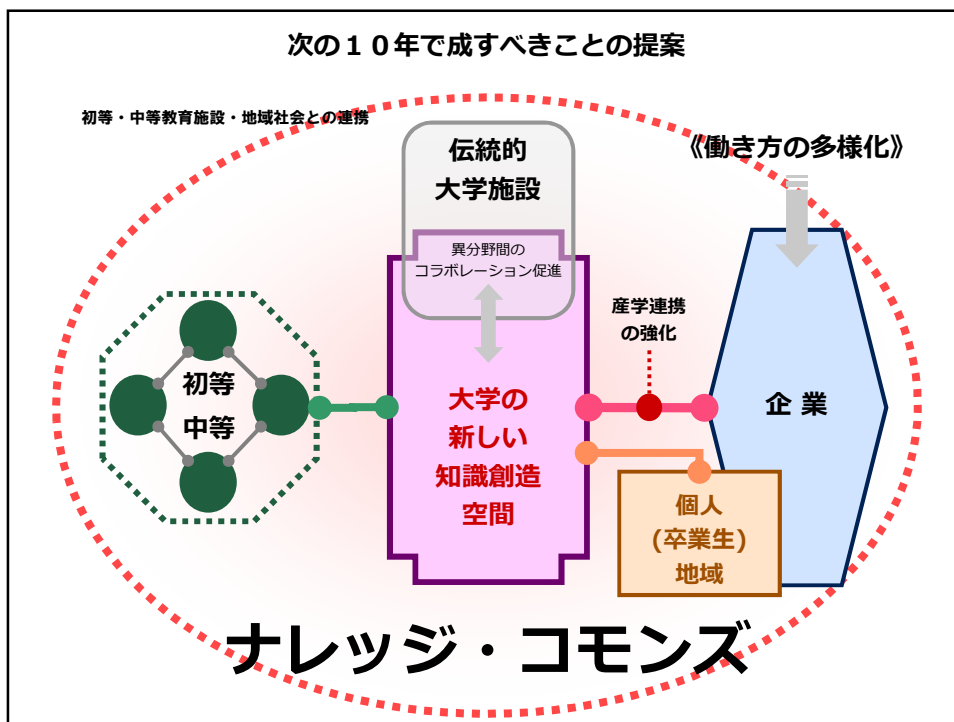
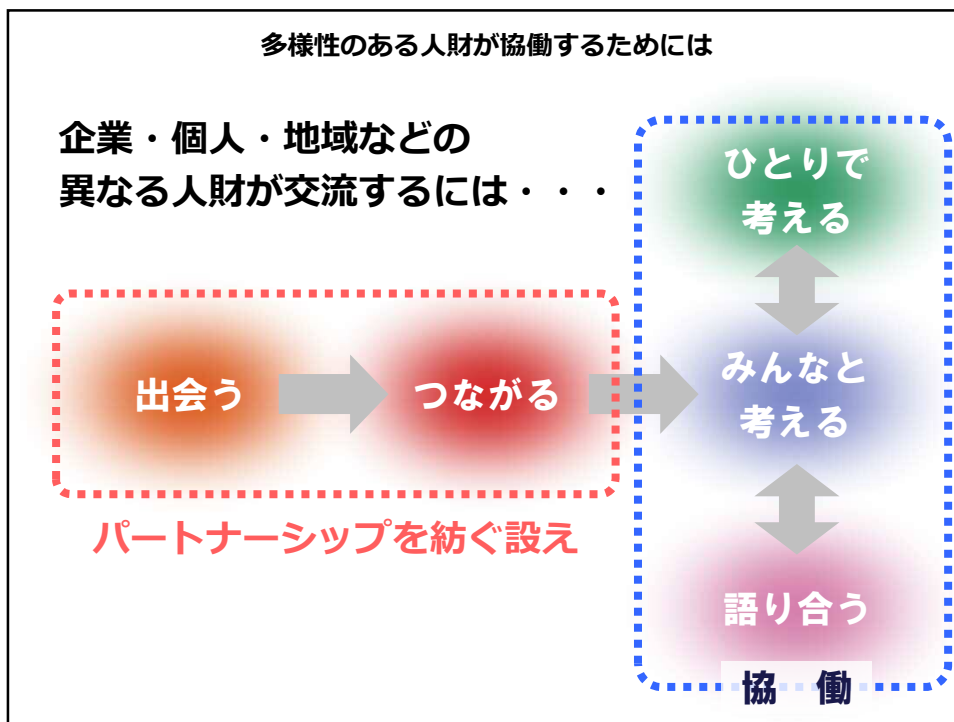
◎ 自発性・積極性

◎ クリエイティブ思考



「多様性」の欠如





ナレッジ・コモンズの期待される効果

・ **多様性のある知識創造を支援**

⇒ **イノベーション誘発のための活動拠点.**

垣根のないコラボレーション実現の場

・ **複合的コラボレーションの実現**

⇒ **大学・企業間・個人が連携できる情報ハブ.**

大学が中心となった知の連合グループの構築

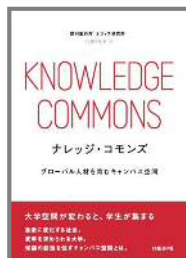
ナレッジ・コモンズの期待される効果

ナレッジ・コモンズ

協生環境 & 情報ハブ

**グローバル人財を育み、
活躍の環境を創るには
大学・企業・個人が
有機的に「つながる」必要がある**

まとめに代えて



- 序章 社会背景と社会から求められる新しい資質
- 第1章 大学の教育・研究のための空間特性
- 第2章 知識創造プロセス
- 第3章 知識創造に関わる新しい教育方法と空間環境
- 第4章 社会との橋渡しになるナレッジ・コモンズ